会　議　結　果　の　お　知　ら　せ

令和８年度第３回宮古市廃棄物減量等推進審議会を次のとおり開催しました。

令和８年11月２日

宮古市廃棄物減量等推進審議会

１　開催日時
令和８年９月24日（木）午前10時00分～午前11時20分

２　開催場所
市役所４階　特別会議室

３　議題
令和７年度一般廃棄物処理実績について

４　会議の概要
会議録のとおり

５　問い合わせ先
市民生活部くらし安全課環境係　　電話0193-64-6488

令和８年度第３回宮古市廃棄物減量等推進審議会

１　開催日時　令和８年９月２４日（木）午前１０時～午前１１時２０分
２　開催場所　市役所４階　特別会議室
３　出席者（１２名）
　①　杉本裕樹 会長　　②　山根吉一 副会長　　③　長塚奉司 委員
　④　中済秀美 委員　　⑤　佐々木匡 委員　　⑥　星野さちえ 委員
　⑦　横田初惠 委員　　⑧　加藤昭一 委員　　⑨　中井剛 委員
　⑩　伊藤薫子 委員　　⑪　畠山りか 委員　　⑫　畠山康弘 委員
４　欠席者（３名）
　①　齋藤浩貴 委員　　②　岡田育栄 委員　　③　小川興隆 委員
５　事務局出席者（５名）
　① 西村泰弘 市民生活部長　② 和美邦彦 くらし安全課長　③小林真 環境係主査
　④ 佐藤駿 環境係主任　　⑤ 上野けい子 環境係きれいなまち推進員
６　傍聴者（なし）
７　審議会概要
　(1) 委嘱状交付
　(2) 開会
　(3) 市長あいさつ
　(4) 会長・副会長選出
　　委員から「事務局に一任」との声があり、事務局案として会長に杉本裕樹委員を、副会長に山根吉一委員を提案し、全会一致で承認された。
　(5) 議事
　　令和７年度一般廃棄物処理実績について、事務局が資料により説明した。その後、質疑応答及び意見等を受ける形式で実施した。要旨は次のとおり。
　(6) 閉会

質疑応答内容

意見･質疑	回　答
【議事　令和７年度一般廃棄物処理実績について】 （委員） 　過般策定された宮古市一般廃棄物処理基本計画により、一人１日当たりのごみ排出量等の数値目標が定められたところである。人口減少に伴いごみ排出量の総量は減少しており、一人１日当たりの生活系ごみ排出量も減少している。一方で一人１日当たりの事業系ごみについては増加していることから、数値目標の達成を目指すのであれば、生活系ごみの減少対策よりも事業系ごみの削減に向けた取り組みの普及を優先する必要があるのではないか。	（事務局） 　生活系ごみについては、人口減少に伴い減少傾向にあるが、さらなる削減に向けて生ごみのひとしぼり運動の普及を進める方針である。 　事業系ごみについては、増加の経緯を把握するため、実態調査を実施する必要がある。なお、事業系ごみには店舗から排出されるごみに加えて、公共施設から排出されるごみも計上されていることを確認したためデータを取集して適切な普及に努めたい。 （事務局） 　事業系ごみに占める割合は不明であるが、宴会の食べ残しも含まれている可能性がある。過般策定した一般廃棄物処理計画にも記載した事項であるが、宴会時の食べ残し削減に向けて、3010 運動の普及を視点に加えた取り組みを進める方針である。
（委員） ・資料２頁の「特定産業廃棄物搬入」の発泡スチロールの品目について実績がないが、これは前年度売り上げ 3,000 万円以下の事業者かつ日量２kg以下の事業者が存在しないからなのか。 ・資料 10 頁の生ごみ処理機の補助は、一般家庭向けか。事業系ごみが増加傾向であるため、事業者向けの補助制度があればごみ削減に向けた取り組みがより効果的に進むのではないかと考える。	（事務局） ・そのとおりである。 ・現状は一般家庭向けのみの補助であるが、今後検討させていただきたい。
（委員） ・一般家庭から排出される発泡スチロールについては、壊して小さくしてから捨てるべきか。 ・ペットボトルの蓋を集積場に出す際に、プラスチック専用指定袋に入れて	（事務局） ・壊して小さな大きさにして指定ごみ袋に入れて集積場にお出しいただきたい。 ・ペットボトルの蓋の分類はプラスチックになるので、プラスチック専用指

だしてよいか。 （委員） ・資料 10 頁の種類別可燃ごみ搬入量はどのように分類しているか。 ・サンプル数はどのくらいか。あまり少ないと実際の搬入量等と乖離する恐れがある。 （委員） ・大手スーパーでも資源物を回収していると思うが、リサイクル率に反映されているのか。 ・ごみの処理に要する費用を市民に示すことができれば、ごみ削減の動機づけになると考えられる。資料ではごみの量により実績が示されているが、金額ベースで示すことは可能か。 （委員） 近所にベトナム人が６～７人住んでいるが、ごみ出しのルールを理解していないため、燃やせるごみと燃やせないごみが混在したり、ごみ出しの時間を守らなかったりする事例があった。雇用先の事業者に窮状を説明したところ改善したが、他の外国人住民が住んでいる地区の対応はいかがか。	定袋に入って出していただきたい。 （事務局） ・全てのごみを判別することは困難であるため、数あるごみ袋の中から無作為に抽出したものを標本として調査し、その結果から算出した代表値を使用している。 ・サンプル数については不明。確認いたしたい。 （事務局） ・リサイクル率は、宮古地区広域行政組合に持ち込まれた資源物を基に算出したものであり、大手スーパーの資源物の回収を考慮したリサイクル率については把握していない。今後の課題として取り組んで参りたい。 ・ごみの量のよる実績のほかに、ごみ処理に要する費用で示す方法がないか検討いたしたい。 （事務局） 長期計画である宮古市一般廃棄物処理基本計画ではごみ処理に要する費用を算出している項目もある。これを年度ごとの処理実績に記載できるか検討いたしたい。 （事務局） 外国人によるごみ出しのルールが守られていないと自治会長から相談を受けたことがあったが、時間はかかったものの、近隣住民の方が外国人住民と直接コミュニケーションを取ることで、ごみ出しのルールの理解を促し改善につなげた事例があった。また、市では初めての試みではあるが、その外国人の母国語である言語で資料を作成し、自治会に提供したことがある。 （事務局） 外国人に限らず、ごみの分別を守らない方がいる場合は、市くらし安全課まで相談してほしい。

（委員） 　小さくなった服などは、市で回収・リサイクルをしているか。	（事務局） 　以前は市内に古着を回収する業者があったため回収していたが、現在は回収業者がいないため引き取りを行っていない。
（委員） 　宮古地区広域行政組合で実施しているフリーマーケットのような取り組みを市も支援して資源の有効活用に取り組んではどうか。	（事務局） 　宮古地区広域行政組合と連携して取り組んで参りたい。